

## 授業科目 臨床医学 I

【担当教員名】 井上 弘樹		対象学年	1	対象学科	情報
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	◎	○	
【概要】 臨床医学総論で学んだ基礎を元に、主に消化器、循環器、呼吸器領域における、各臓器の機能及び、主要な疾病の病態生理と症状、診断過程、治療方法、経過と予後の概要を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 消化器、循環器、呼吸器領域における、主要な疾患名を列挙することができる。</li> <li>2. 消化器、循環器、呼吸器について、疾病の成り立ちと病態生理を説明することができる。</li> <li>3. 消化器症状、心血管症状、呼吸器症状の主要なものについて、診断法を概略して記述することができる。</li> <li>4. 上記の臓器に生じる、主要な疾病の治療と経過を概略して記述することができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	消化器 I (消化器の構造と機能)			1	
2	消化器 II (検査)			2, 3	
3	消化器 III (食道・胃)			1-4	
4	消化器 IV (肝臓・胆嚢・膵臓)			1-4	
5	消化器 V (小腸・大腸)			1-4	
6	消化器 VI (消化器の外科)			1-4	
7	循環器 I (心血管の構造と機能・検査と治療)			1	
8	循環器 II (心不全と高血圧)			2, 3	
9	循環器 III (虚血性心疾患)			4	
10	循環器 IV (不整脈)			1-4	
11	循環器 V (心弁膜・心筋・心膜の疾患・先天性心疾患・血管疾患)			1-4	
12	呼吸器 I (呼吸器の構造と機能、検査)			2, 3	
13	呼吸器 II (肺炎と閉塞性肺疾患)			4	
14	呼吸器 IV (間質性肺疾患と胸膜疾患)			1-4	
15	呼吸器 V (その他の呼吸器疾患)			1-4	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		診療情報管理士テキスト 診療情報管理 I 医学編	基礎・大井利夫	日本病院会	2011・8,000 円
参考書		コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科 学 (第4版)	北村 論 他	中外医学社	2011・3,990 円
		臨床病態学	佐藤良暢 他	南江堂	2000・5,040 円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験 (筆記)		【履修上の留意点】 教科書に無い部分はスライドやハンドアウトなどで適宜補足する。 本科目のような分野では、知識を正確に用いることが求められる。そのためには日々学習を積み重ねることが必須であることをよく理解した上で、受講すること。 受講時に他の学生の学習の妨げとなる態度を取る者については、退室を命じることがある。 シラバスの各回の内容については変更になる可能性があるため、各自掲示板などをみておくこと。			